

令和4年度決算のお知らせ

7月18日(火)に開催されました第180回組合会において、令和4年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

令和4年度 決算のポイント

保険給付費は増加したが、
拠出金全体の減少により黒字決算

決算概要

みなさんと事業主から納めていただいた保険料収入は、前年度より387万5千円減収の27億8,706万1千円となりました。

支出では、みなさんの医療費などにあてられる保険給付費は前年度より9,093万6千円増加し、14億2,202万9千円となりました。

高齢者の医療を支えるために支出する納付金については、前年度より7,030万2千円減少し、8億9,434万8千円の拠出となりました。内訳としては、前期高齢者納付金が3,740万円減少の1億8,282万円、後期高齢者支援金は3,287万8千円減少の7億1,152万6千円でした。みなさんの健康づくりをバックアップする保健事業費については事業内容の見直しを徹底し、大切な保険料の有効活用に努めた結果、2億2,625万円の支出となりました。

令和4年度は保険料収入が減少し、保険給付費が増加しましたが、拠出金全体の減少で補われました。収支差引額は11億1,690万2千円の黒字、財政の健全性を示す経常収支差引額は1億7,529万2千円の黒字決算となりました。

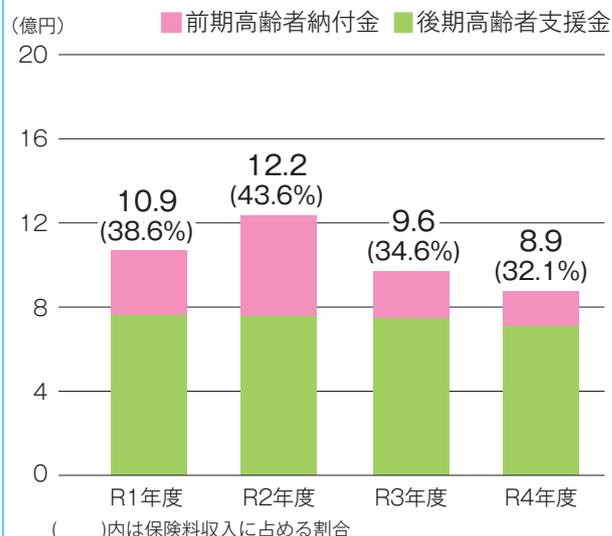
健康保険組合を取り巻く状況

健康保険組合連合会(以下健保連)が発表した「令和5年度健康保険組合予算編成状況—早期集計結果(概要)—」によると、健保組合全体の経常収支は前年度から2,818億円悪化し、過去最大の赤字になる見通しです。

その要因としては、コロナ禍による受診控えで減少していた医療費が再び上昇基調になったことと、団塊の世代が75歳に到達しはじめたことによる拠出金の増加が挙げられます。後期高齢者人口の増加は令和7年度にかけて続くため、拠出金は今後さらに上昇することが確実視されています。

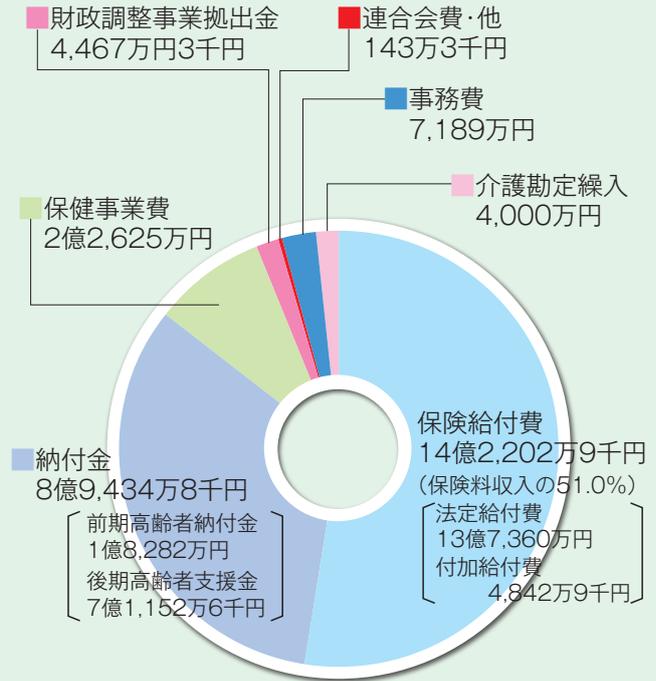
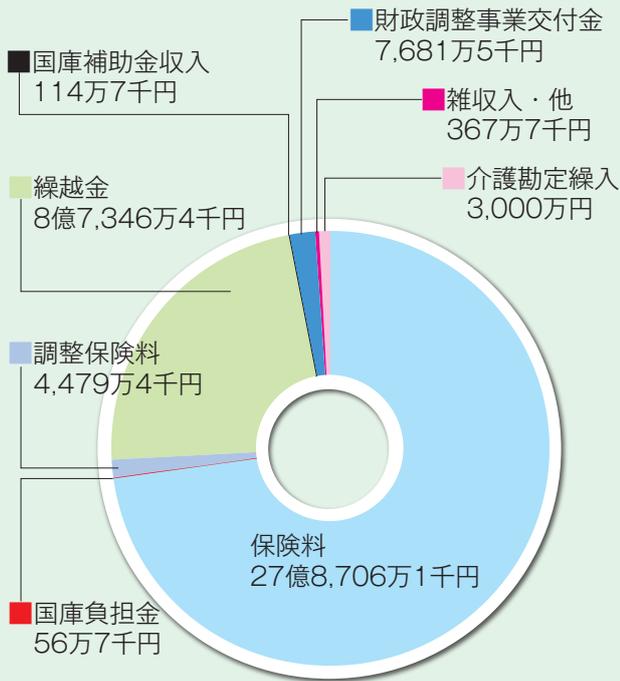
健康保険組合としましては、事業の効率化を図るとともに、みなさんの健康増進施策に力を注いでまいります。みなさんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康の維持・増進にお役立ていただくとともに、適正受診をこころがけ、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

当健康保険組合の納付金の推移



◆収入合計◆ 38億1,752万5千円

◆支出合計◆ 27億62万3千円



令和4年度
決算額

収入合計	38億1,752万5千円
支出合計	27億 62万3千円
収入支出差引額	11億1,690万2千円
経常収支差引額	1億7,592万2千円

健康保険

決算基礎数値

被保険者数	3,942人 (男性 2,839人 女性 1,103人)
平均年齢	45.29歳 (男性 46.27歳 女性 42.76歳)
被扶養者数	4,768人
前期高齢者加入率	0.502288%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000 (事業主 51.00/1000 被保険者 32.00/1000)

介護保険

決算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	2,785人
介護保険料率 (事業主10.00/1000 被保険者10.00/1000)	20.00/1000

決算の概要 (単位:千円)

科目	決算額
介護保険料	534,765
繰越金	48,289
一般勘定受入	40,000
合計	623,054

科目	決算額
介護納付金	436,959
還付金	42
一般勘定繰入	30,000
合計	467,001